

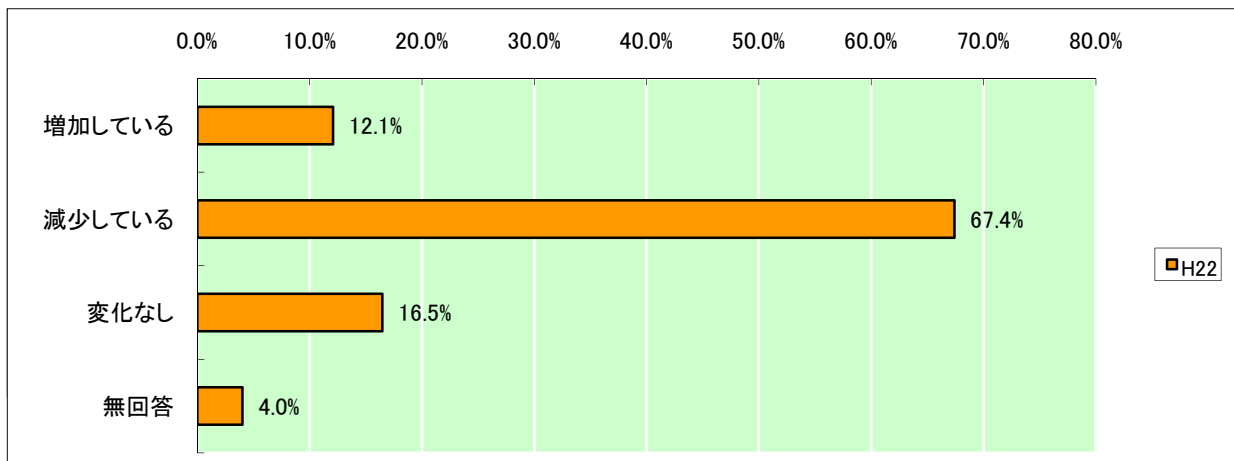
Ⅱ. 企業(商店)の現状について

1. 売上高の変化

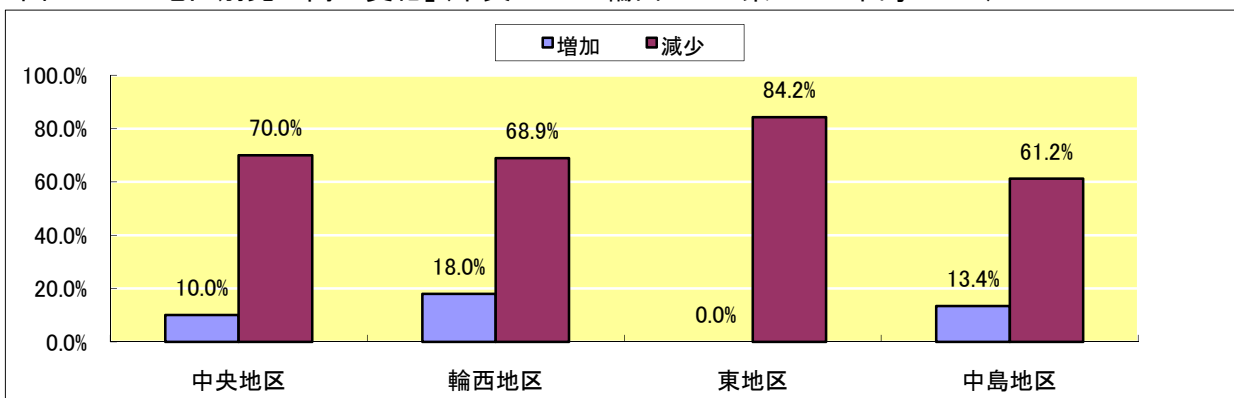
(1) 最近3年間の売上高の変化

- ・最近3年間の売上高の変化については、7割近くの企業(商店)が「減少している」(67.4%)と回答し、「増加している」(12.1%)と回答した組合員は、僅かとなっている。(図10-1)
 なお、地区別に比較すると、東地区は、「減少している」と回答した割合が最も高く、「増加している」と回答した組合員はなかった。(図10-2)

「図10-1 売上高の変化」(H22年度:N=273)



「図10-2 地区別売上高の変化」(中央N=40:輪西N=61:東N=38:中島N=134)

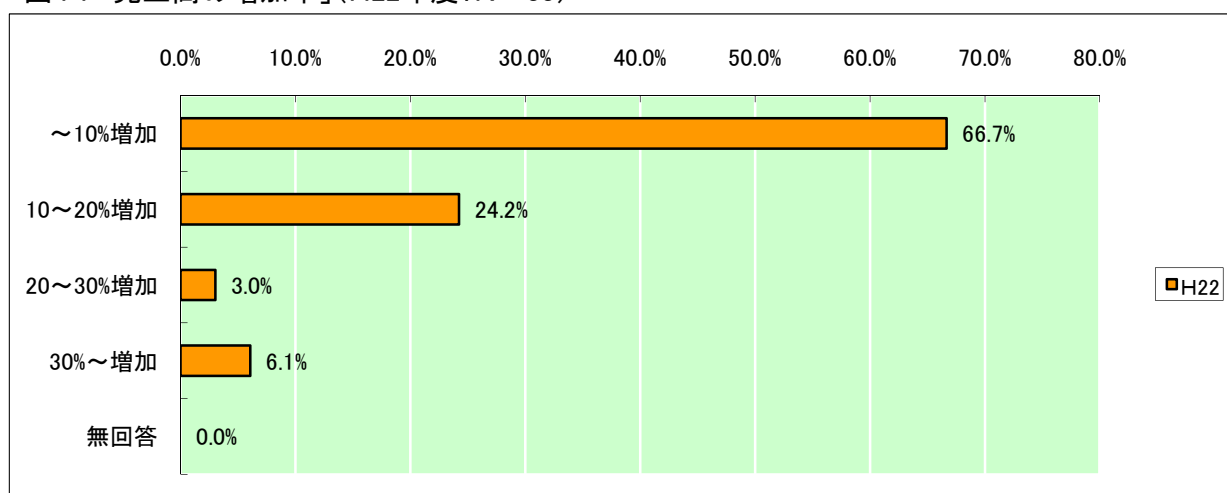


(2) 最近3年間の売上高の推移

■ 増加率

- ・「増加している」と回答した企業(商店)の売上高の増加率については、「～10%増加」(66.7%)が最も多く、次いで「10～20%増加」(24.2%)となっている。(図11)
なお、回答した組合員の地区的な偏りはみられなかった。

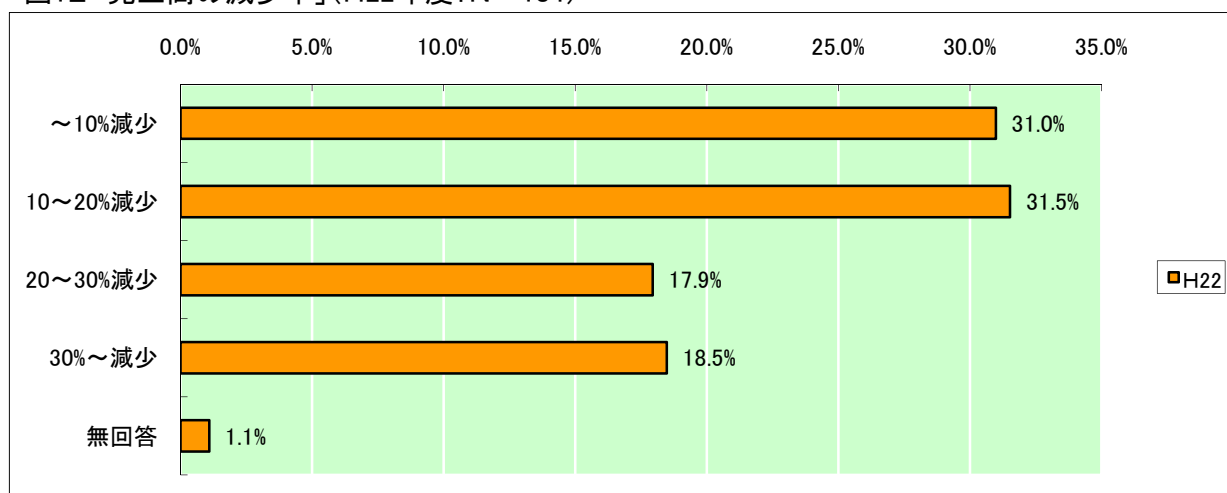
「図11 売上高の増加率」(H22年度: N=33)



■ 減少率

- ・「減少している」と回答した企業(商店)の売上高の減少率については、「10～20%減少」(31.5%)、次いで「～10%減少」(31.0%)となっており、6割を超える企業(商店)が20%以下の減少率となっている。なお、回答した組合員の地区的な偏りはみられなかった。(図12)

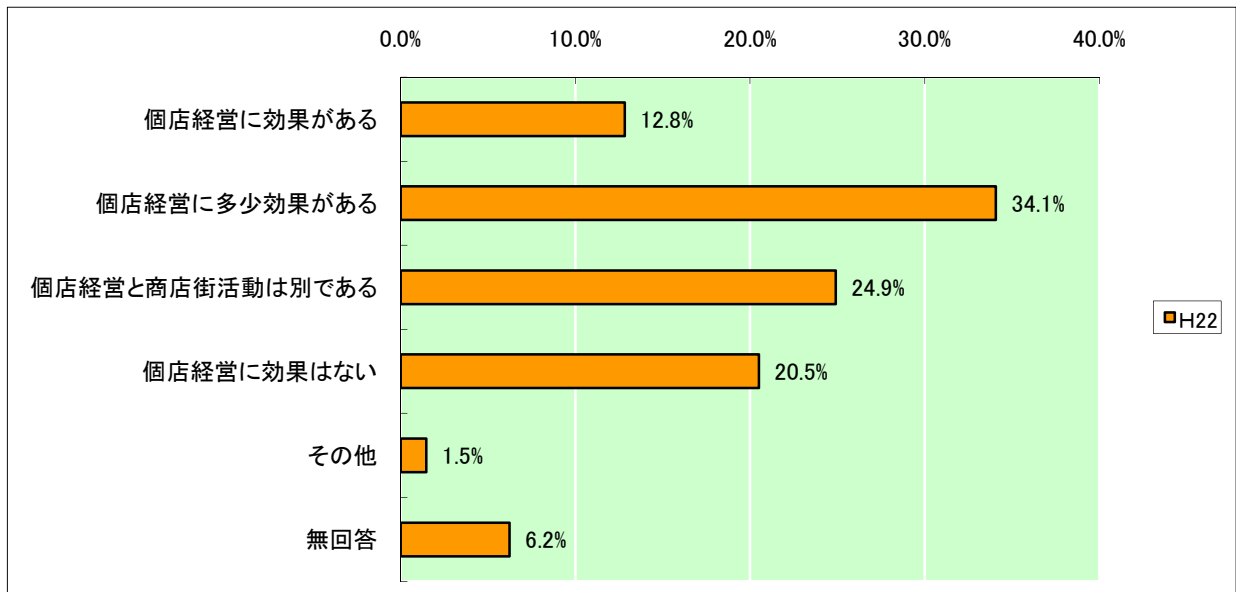
「図12 売上高の減少率」(H22年度: N=184)



2. 経営から見た商店街活動

- ・ 経営から見た商店街活動については、「個店経営に多少効果がある」(34.1%) が最も多く、次いで「個店経営と商店街活動は別である」(24.9%) となっている。(図13)
 なお、地区別に比較すると、東地区以外の地区で「個店経営に多少の効果がある」と回答した割合が最も高くなっている。(表1)

「図13 経営から見た商店街活動」(H22年度：N=273)



「表1 地区別経営から見た商店街活動」(中央N=40:輪西N=61:東N=38:中島N=134)

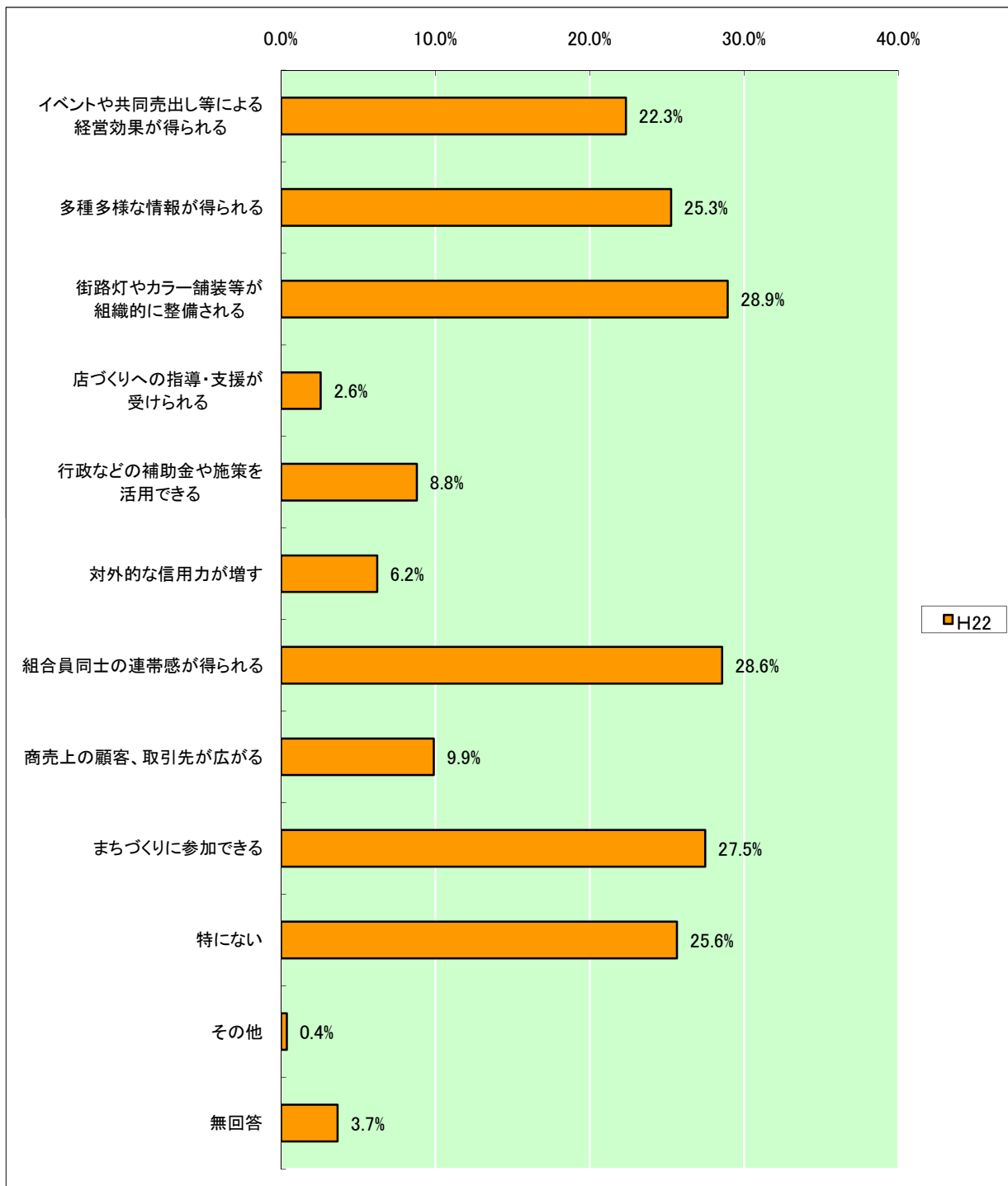
	中央地区		輪西地区		東地区		中島地区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
個店経営に効果がある	5	12.5%	8	13.1%	2	5.3%	20	14.9%
個店経営に多少効果がある	15	37.5%	24	39.3%	9	23.7%	45	33.6%
個店経営と商店街活動は別である	8	20.0%	18	29.5%	13	34.2%	29	21.6%
個店経営に効果はない	8	20.0%	7	11.5%	11	28.9%	30	22.4%
その他	2	5.0%	1	1.6%	0	0.0%	1	0.7%
無回答	2	5.0%	3	4.9%	3	7.9%	9	6.7%

3. 商店街の組合員であることのメリット

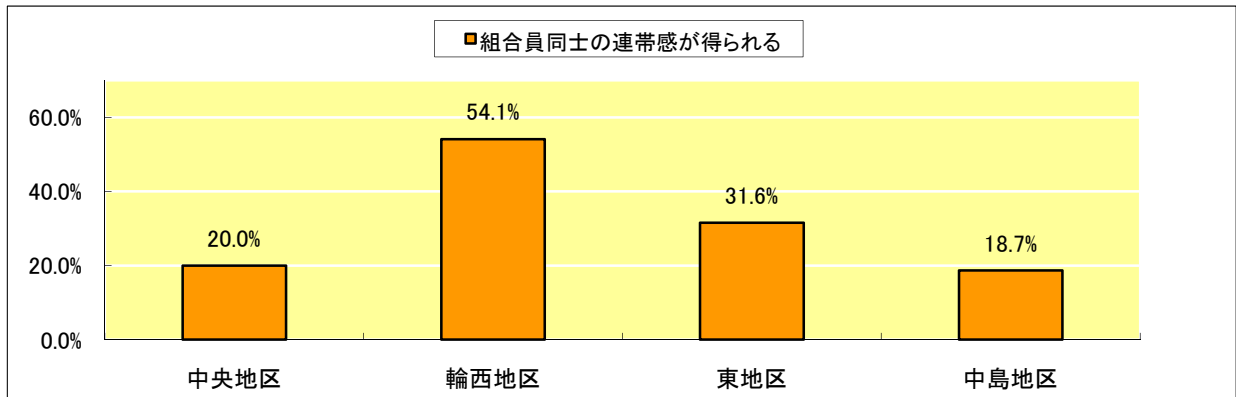
- ・商店街の組合員であることのメリットについては、「街路灯やカラー舗装等が組織的に整備される」(28.9%) が最も多く、次いで「組合員同士の連帯感が得られる」(28.6%)、「まちづくりに参加できる」(27.5%) となっている。(図14-1)

なお、地区別での偏りがみられた「組合員同士の連帯感が得られる」では、輪西地区での割合が高くなっている。(次頁図14-2)

「図14-1 組合員であることのメリット(複数回答)」(H22年度: N=273)



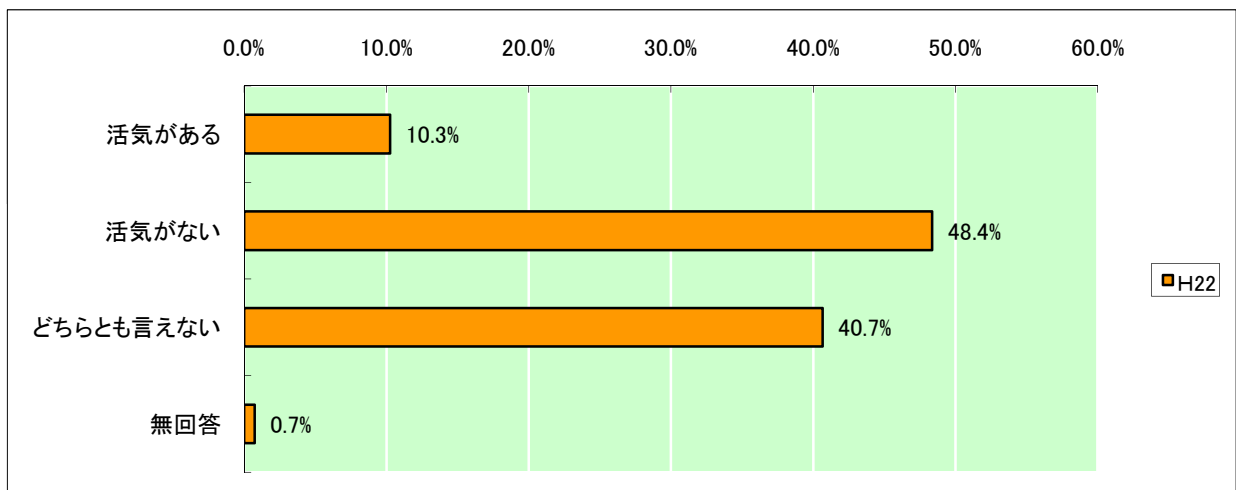
「図14-2 地区別の組合員であることのメリット」(中央N=40:輪西N=61:東N=38:中島N=134)



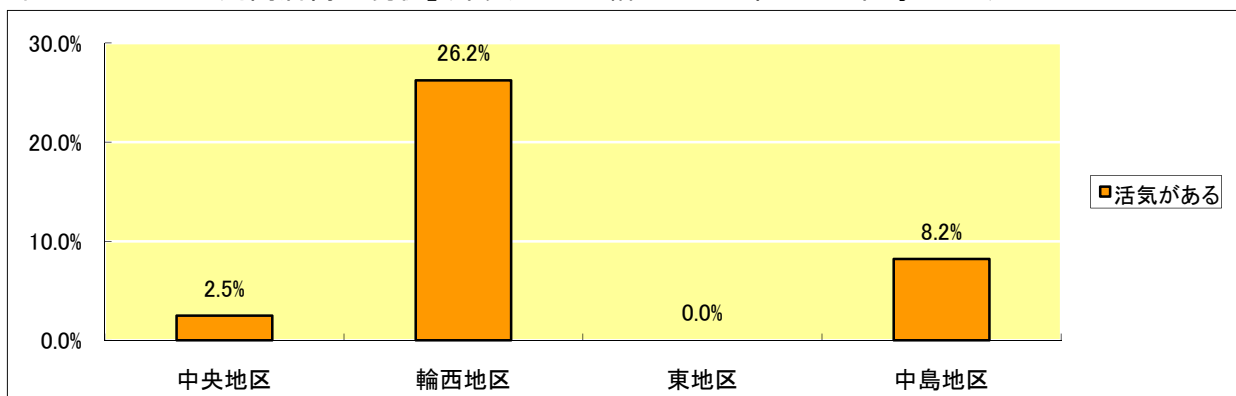
4. 商店街の現状

- ・商店街の現状については、5割近くの企業(商店)が「活気がない」(48.4%)と回答しており、「活気がある」(10.3%)と回答した企業(商店)は僅かとなっている。(図15-1)
 なお、地区別での偏りがみられた「活気がある」では、輪西地区での割合が飛び抜けて高くなっている。(図15-2)

「図15-1 商店街の現状」(H22年度:N=273)



「図15-2 地区別商店街の現状」(中央N=40:輪西N=61:東N=38:中島N=134)

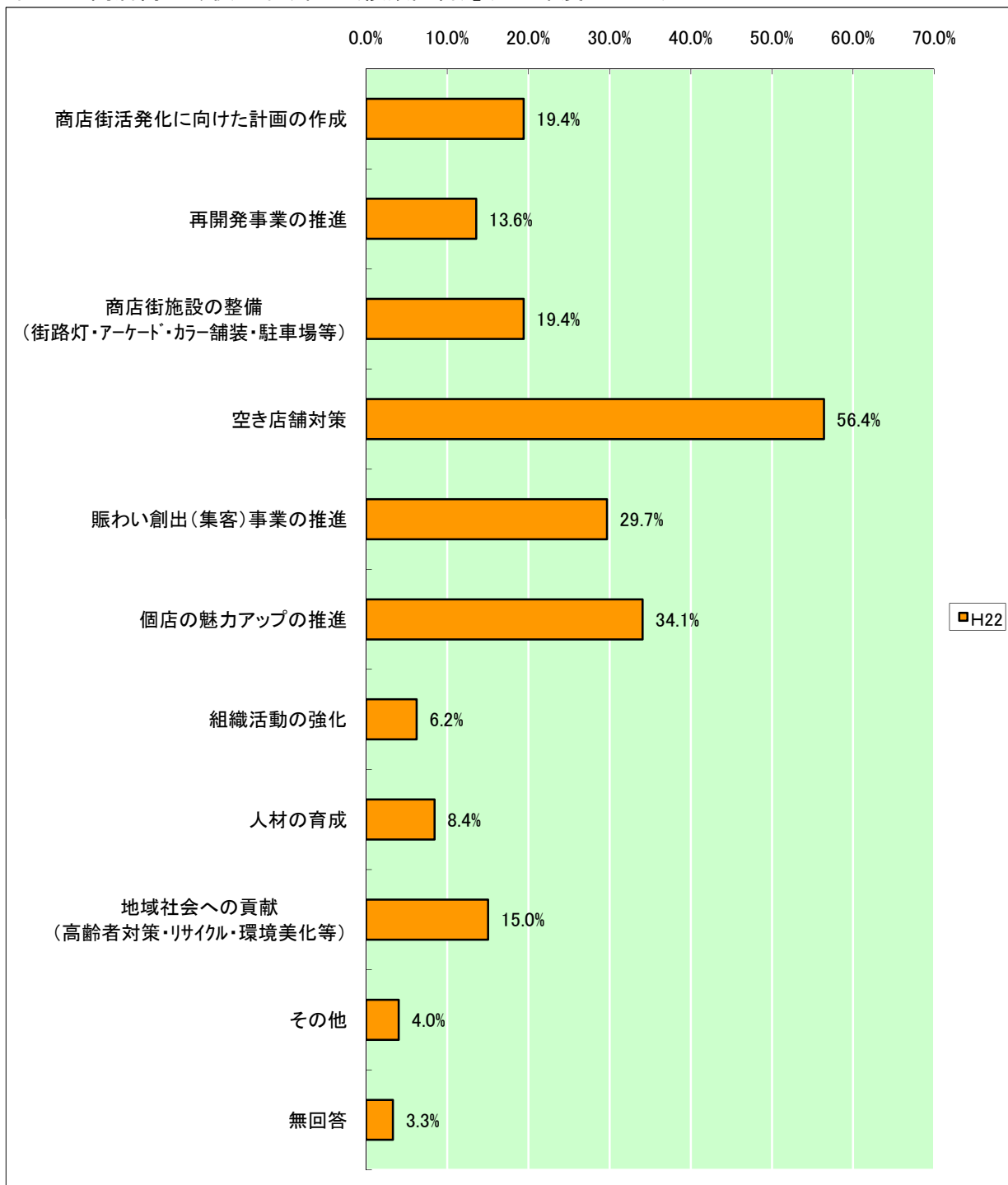


5. 商店街の今後の取り組み

- ・商店街を魅力的にしていくための今後の取り組みについては、「空き店舗対策」(56.4%) が最も多く、次いで「個店の魅力アップの推進」(34.1%)、「賑わい創出(集客)事業の推進」(29.7%)となっている。

なお、回答した組合員の地区的な偏りはみられず、どの地区においても、空き店舗対策が重要と回答している。(図16)

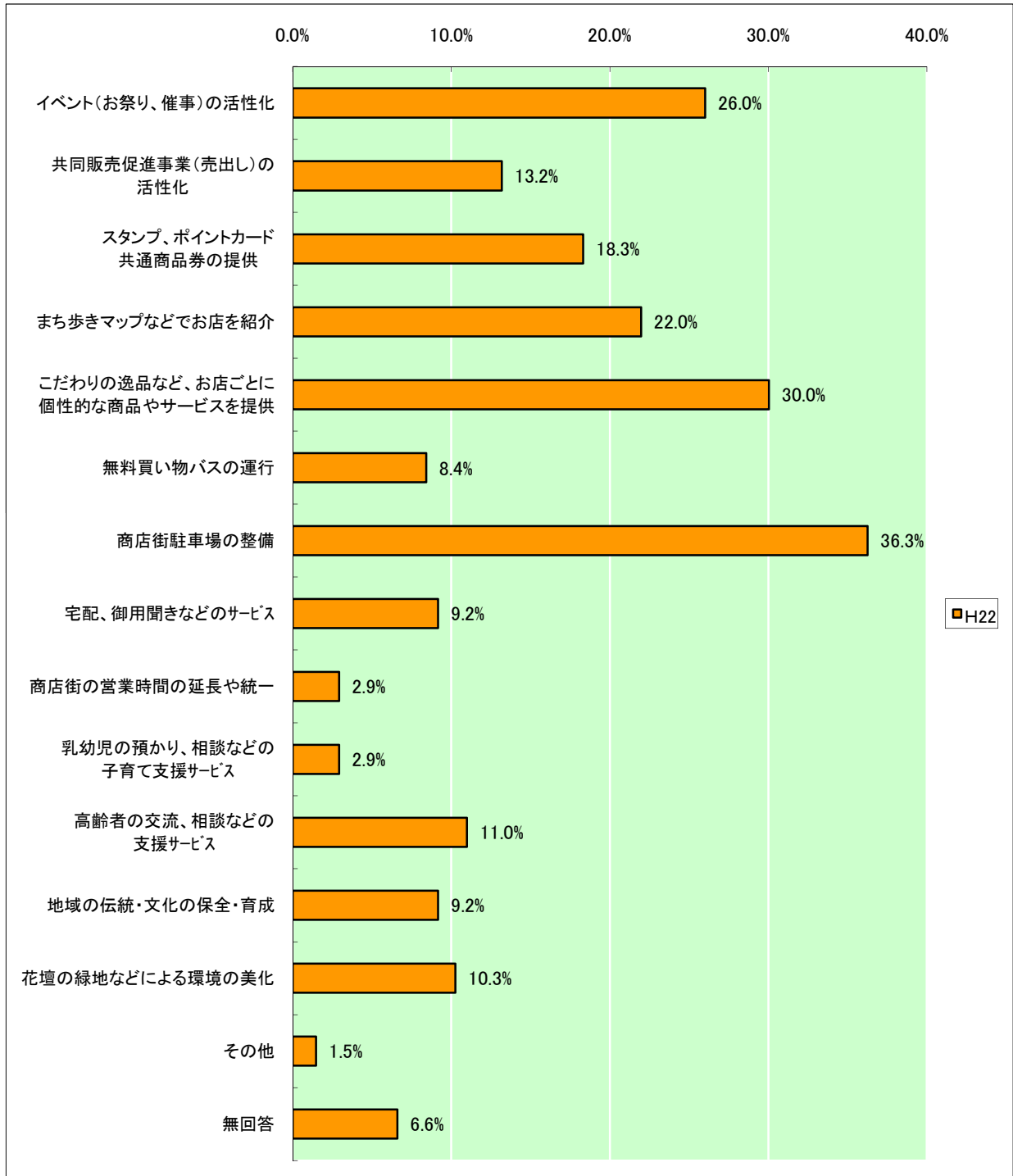
「図16 商店街の今後の取り組み(複数回答)」(H22年度:N=273)



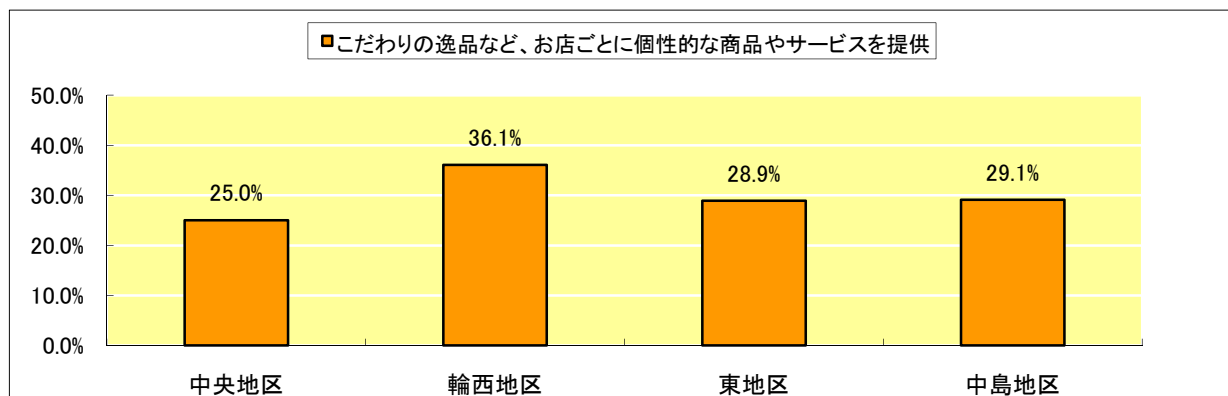
6. 商店街の活性化に必要なサービス

- ・商店街の活性化に必要なサービスについては、「商店街駐車場の整備」(36.3%) が最も多く、次いで「こだわりの逸品など、お店ごとに個性的な商品やサービスを提供」(30.0%)、「イベント(お祭り、催事)の活性化」(26.0%) となっている。(図17-1)
 なお、地区別での偏りがみられた「こだわりの逸品など、お店ごとに個性的な商品やサービスを提供」では、輪西地区での割合が高くなっている。(次頁図17-2)

「図17-1 商店街の活性化に必要なサービス(複数回答)」(H22年度：N=273)



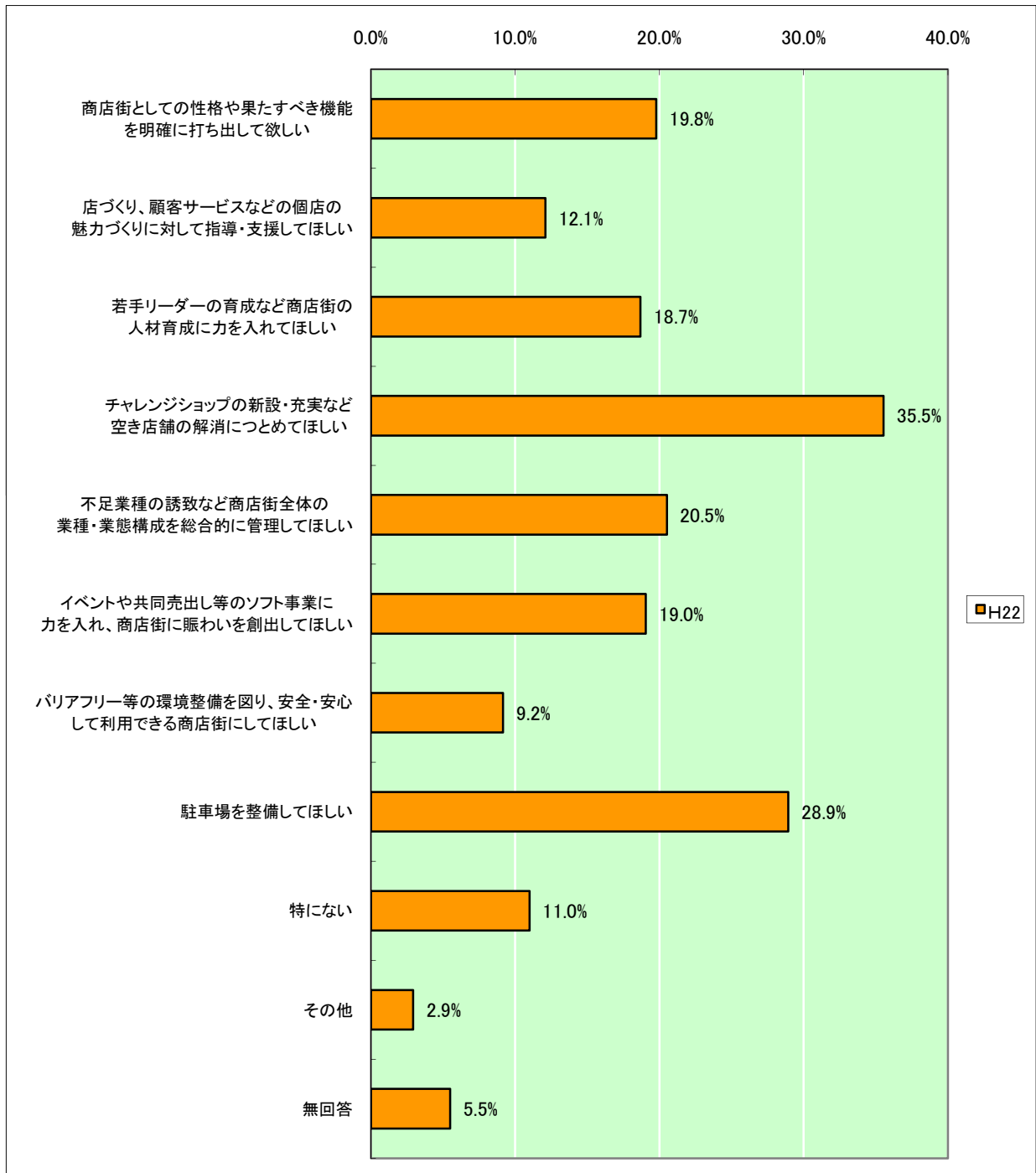
「図17-2 地区別必要なサービス」(中央N=40:輪西N=61:東N=38:中島N=134)



7. 商店街に対する期待

- ・商店街に対する期待については、「チャレンジショップの新設・充実など空き店舗の解消につとめてほしい」(35.5%) が最も多く、次いで「駐車場を整備してほしい」(28.9%)、「不足業種の誘致など商店街全体の業種・業態構成を総合的に管理してほしい」(20.5%) となっている。(図18) なお、「チャレンジショップの新設・充実など空き店舗の解消につとめてほしい」と回答した組合員は、中央・輪西・東地区で最も高い割合となっており、中島地区においては、「駐車場を整備してほしい」と回答した組合員の割合が最も高く、地区的な傾向がみられる。(次頁表2)

「図18 商店街に対する期待(複数回答)」(H22年度：N=273)



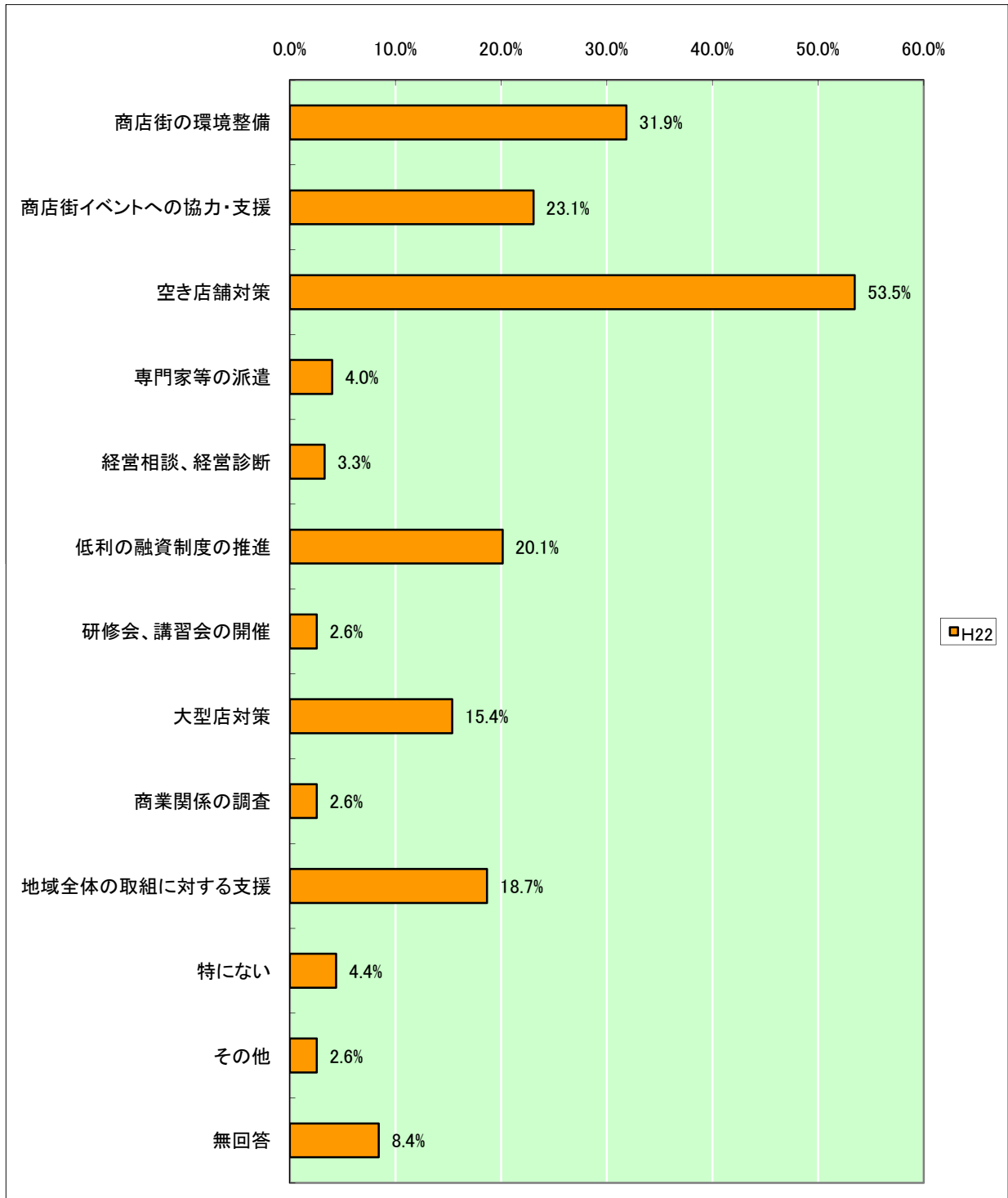
「表2 地区別商店街に対する期待」(中央N=40:輪西N=61:東N=38:中島N=134)

	中央地区		輪西地区		東地区		中島地区	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
チャレンジショップの新設・充実など空き店舗の解消につとめてほしい	17	42.5%	26	42.6%	14	36.8%	40	29.9%
駐車場を整備してほしい	17	42.5%	2	3.3%	12	31.6%	48	35.8%
不足業種の誘致など商店街全体の業種・業種構成を総合的に管理してほしい	6	15.0%	12	19.7%	6	15.8%	32	23.9%
商店街としての性格や果たすべき機能を明確に打ち出して欲しい	10	25.0%	12	19.7%	3	7.9%	29	21.6%
イベントや共同売出し等のソフト事業に力を入れ、商店街に賑わいを創出してほしい	11	27.5%	16	26.2%	6	15.8%	19	14.2%
若手リーダーの育成など商店街の人材育成に力を入れてほしい	7	17.5%	13	21.3%	4	10.5%	27	20.1%
店づくり、顧客サービスなどの個店の魅力づくりに対して指導・支援してほしい	5	12.5%	9	14.8%	6	15.8%	13	9.7%
特にない	5	12.5%	5	8.2%	7	18.4%	13	9.7%
バリアフリー等の環境整備を図り、安全・安心して利用できる商店街にしてほしい	3	7.5%	6	9.8%	4	10.5%	12	9.0%
無回答	0	0.0%	7	11.5%	2	5.3%	6	4.5%
その他	2	5.0%	2	3.3%	0	0.0%	4	3.0%

8. 行政に対して望む事業

- ・ 行政に対して望む事業については、「空き店舗対策」(53.5%) が最も多く、次いで「商店街の環境整備」(31.9%)、「商店街イベントの協力・支援」(23.1%) となっている。(図19)
 なお、回答した組合員の地区的な偏りはみられなかった。

「図19 行政に対して望む事業(複数回答)」(H22年度: N=273)

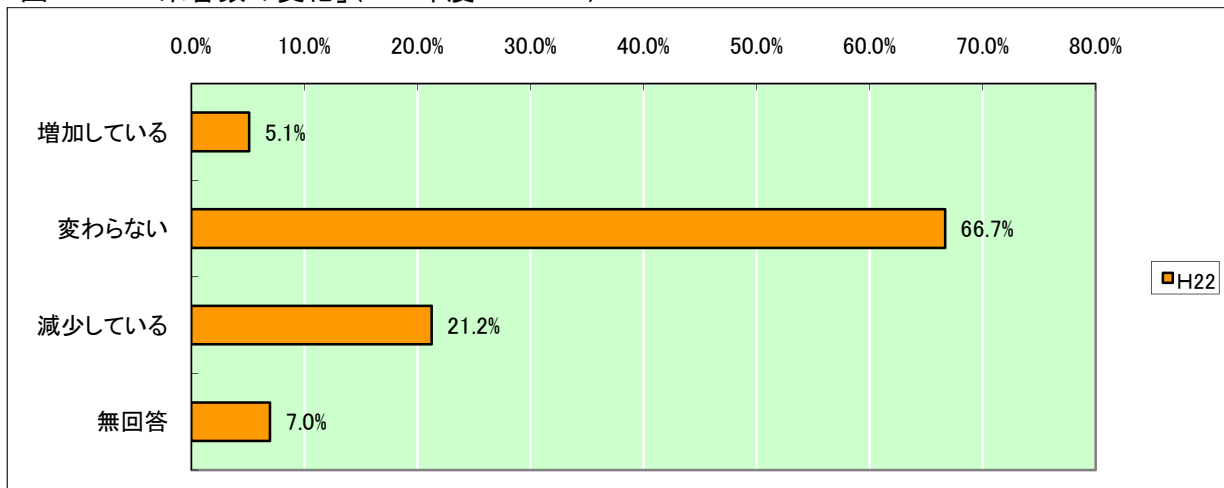


9. 丸井今井室蘭店の閉店による影響

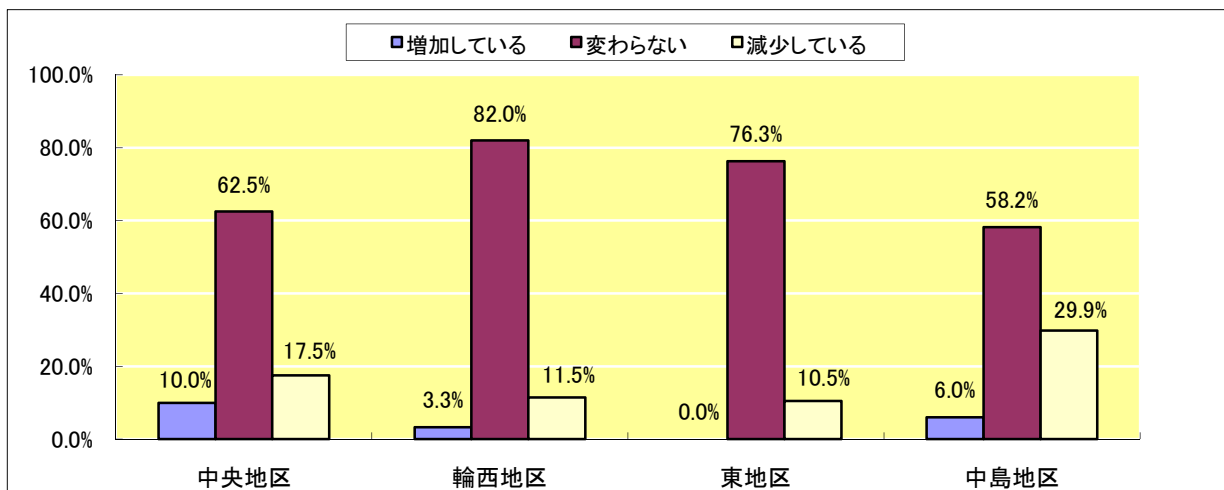
(1) 丸井今井室蘭店の閉店による来客数の変化

- 丸井今井室蘭店の閉店(平成22年1月20日)による来客数の変化については、「変わらない」(66.7%)が最も多く、次いで「減少している」(21.2%)となっている。(図20-1)
 なお、丸井今井が立地していた中島地区では、他地区に比べ、「減少している」と回答した組合員の割合が高く、地区的な傾向がみられる。(図20-2)

「図20-1 来客数の変化」(H22年度:N=273)



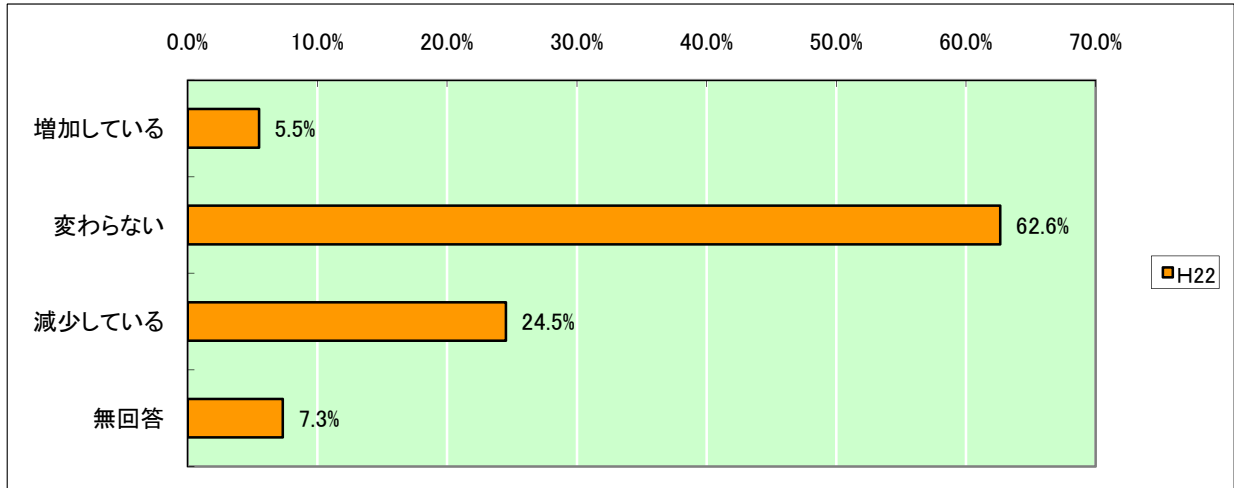
「図20-2 地区別来客数の変化」(中央N=40:輪西N=61:東N=38:中島N=134)



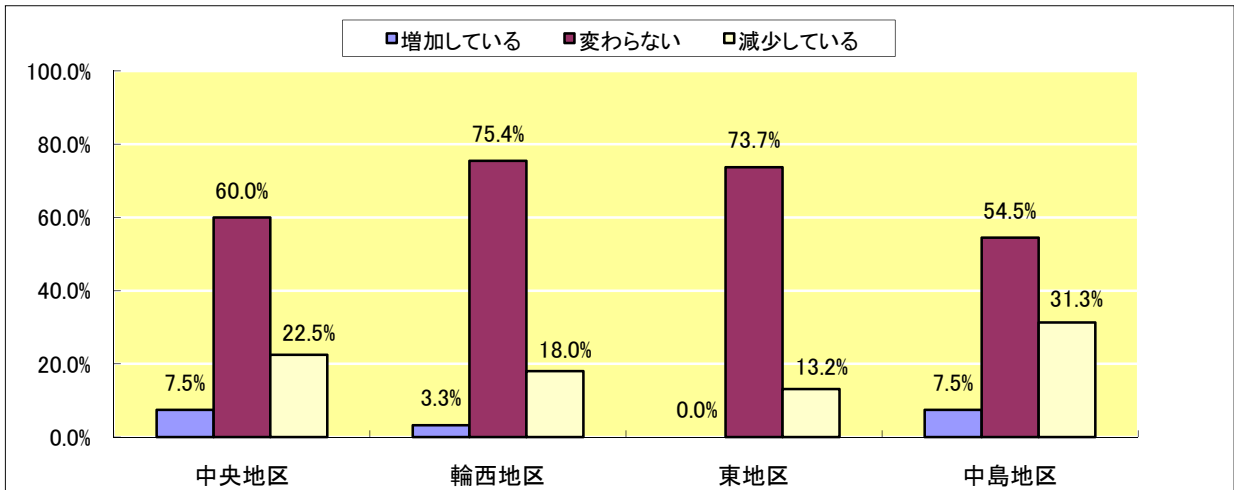
(2) 丸井今井室蘭店の閉店による売上高の変化

- ・丸井今井室蘭店の閉店(平成22年1月20日)による売上高の変化については、「変わらない」(62.6%)が最も多く、次いで「減少している」(24.5%)となっている。(図21-1)
 なお、丸井今井が立地していた中島地区では、他地区に比べ、「減少している」と回答した組合員の割合が高く、前頁「来客数の変化」と同様の傾向となっている。(図21-2)

「図21-1 売上高の変化」(H22年度:N=273)



「図21-2 地区別売上高の変化」(中央N=40:輪西N=61:東N=38:中島N=134)



10. 商店街の活性化や今後の商店街のあり方等についての意見・要望

現状に不満を感じていること

- ・ 東室蘭駅(JR)西口周辺が室蘭の玄関口として大変淋しく活気がない。特に旧第一ホテルの建物は早期に何らかの手を打ってスッキリして欲しい。
- ・ 特にないが、道路拡幅に協力したが街の活性化になっていない、まちづくり課は何をしていたのか。
- ・ 早く丸井今井後の商業施設の開店期日の明記をはっきり打ち出してほしい。
- ・ 室蘭市の人口増加を図ること、他の県、市とイベントの増加など商店街に丸投げするより市が動く事、働く事の方が大事。
- ・ ヤマダ電機出店について市の方針に疑問があります。
この出店に対し、個人店の影響は考えていないのでしょうか？同店は本や玩具、CDの販売も行っており、個人店が苦しくなるのは明白です。実際 ゲオ、ツタヤの進出で個人の書店、CDショップはほとんどが無くなっています。また、丸井の解体も市外の業者が入るようですが、地元企業にお金を落とす気は無いのでしょうか？生田建設の件も含め対応が疑問です。
- ・ 私は、商店街に住宅を有しています。東町の店舗は休止、登別地域で商売をしている現状です。東室蘭商店街には、相談役として加入していますが、現在、特に感じることは、商売にならないと意欲を無くしている店主が多く見られる。政治の不安定も手伝って難しい時期ですが、経営者に対する精神面の何かの指導があればと考えています。
- ・ 大型店の乱立により、いまや商店街は押しに押しされっぱなしである。人口の減少、閉塞感に加え、近所づきあいの無いマンションの様な地域の現状がみてとれる。
商店街の店主達は、それぞれにそれなりの商店街活動をしており、とても良い事とは思いますが、次の一手に欠けています。あまり大掛かりな事は出来ませんが、地元の小学校の学校祭、フェスティバル、又はお祭りでも商店街色を出してとりのりのお店には何かある？年一回でも魅力創出の場は有るのではないかと思います。
- ・ やきとり屋さんの煙を店の前に出さないで煙突を付けてほしい。
商品と品物、頭の中まで毎日毎日くさくさウィンドーや品物がギトギトになる。隣近所で文句を言われないので、そう言うきまり(規定)を市や国で作ってほしい………毎日服を取り替えても頭の中まで臭くなる。
- ・ とても難しいです。
どこの街へ行っても大きな商業チェーン店が並び、同じようにそこへ車で買い物に行き、人々は振り回され、大きな資本家へと資金も流れてその中で働く人達も雇用され助かる事だろうし、小さな資本力のない店、人口の少ない所は消えていく。仕方がないのですが、どこの街に行っても同じチェーン店はつまらなく、他の地方のお客様は、その土地の昔からの古い店に商店街に興味を持っているもので、やはり商店街で知恵を出し合う事だと思う。

今後の改善又は取組むべき点

- 中島は、商店会の中に振興組合が3つあり、それぞれ協力していると思われませんが、商店会活動を一本にした方が力が結集されると思います。
- 東室蘭駅西口から繁華街までの道路になにか人が集まる仕掛けがほしい。
- 将来的に組織力を強化していくべき。振興組合や商店街が統一した動きで活動する。「物」を売るための商店街ではなく、地域ニーズや消費者ニーズに合ったコミュニティづくりを行政と協力していく。
- 商店街共有の駐車場が有って、お客様が安心して止められてゆっくり買い物が出来るといいと思う。
- 商店街や役員の方々も高齢になり、商店も少なくなり、組合も存続していくのが難しくなっていると思う。昔からある各商店街組合も1つの大きな組合になり、助け合って行ける様になったら良いと思います。組合員の少なくなっている商店街ばかりだと、イベントをするのも大変だし高齢の役員さんの負担になっていると思います。
- 向陽中学校跡や中島中央通り沿線にある室蘭市の用地活用について、買い物動向調査や市民意向を把握した上で、10年先を展望した近代化ビジョンを策定し、室蘭市の重要施策として位置づけすべし。
- 2Fにテナントが入っていたのですが、不況で賃貸料も滞納のまま倒産しました。丸井今井が無くなって、この辺の駐車場も空き、私たちの場合、駐車場が確保された事によりテナントが決まりました。車の時代ですから多少の駐停車の緩和などお願いしたいと思います。お客様がハラハラしての買い物は、売り上げなどにつながらないと思っています。
- 問5で述べたように商店会が多く、各自が小さい為、予算も少なくイベントにもお金をかけられずいるので、商店街が合併してより大きい予算でイベントを1つほしい。
- 商店街を1つの空間として考え、街の中を目的もなしにぶらぶら散歩ができる、道端には商店が並び欲しければ買える、店の前に椅子を置き、疲れたら座ってもらい一服するスタンドもほしい。トイレは、貸すことの出来る店に共通のステッカーを貼ってもらう、居心地の良い空間を造ってやれば人は集まってくるかも。
- 地元金融機関として経営の支援に積極的に関わって参る所存ですが、個々の相談にとどまっております。組合・市そして金融機関一体となった活性化を目指す組織体を形成する必要があると思います。
- 中島商店街組合の統一を図り、イベント等大きく行う事、集客を考えてほしい。次世代を担う若者の出店を希望する。
- 市・道・国への要望 …… 法人税・事業税・固定資産税・健康保険税等の減税が早急に必要である。税金等の支払いで四苦八苦。設備投資・リフォーム等が実行できない。大変苦しい事業の経営状況である。将来もっともっと充実した魅力のある設備内容にしていきたい。……………(多額の納税が経営を圧迫)
- 町の魅力づくり …… 商店街の活性化には、その町に大勢の人が各方面から寄って来なければならない。歩み寄って来させるためには、素敵な魅力が必要である。最大の素敵な魅力とはなにか、マクロ的・大局的な見地で、どこかの機関・部署で検討して欲しい。(将来展望に立ったまちなか再生、10年先・30年先・50年先 ……………)

-
- ・ 振興組合組織改革と道振連、市商振、中央会等の会費を年間で見直されて一本化できたらと思う。支出金額が大きいほど、他に使用する事や施設整備等、イベント活用費等に使用したい。
 - ・ 室蘭で一番の商店街である中島町なのに、旧パルコ跡地が駐車場になって商店街らしくない町並になっていると思います。出来る事ならば、商店、企業を誘致して町並みを整備してもらいたいです。
 - ・ 連帯でイベントなど催してほしい。(人が集まって来る様なイベントや行事など)
 - ・ それぞれの商店街の地域性や歴史などを基に魅力ある商店街を形成するべきでは？
 - ・ 室蘭各地域の祭典が賑やかに始まっているのが聞こえます。
蘭西と蘭東に挟まれた、中間の輪西地区において広い市街地や大きな広場や道路が少ないからと言うだけで「ねりこみ」や「市民踊り」等、市民の為の重要なお祭りが開けないんだと云わずに工夫して、4年から5年に一遍でもよいから交代で重要なお祭りを担うようにしたらどうか。
商店街の大小は気にせず、若者の手が足りなかったら高齢者の方々も手伝わせたらどうだろう。
各所の名誉ある役員だけ引き受けたり、他所にそれらしくイイ面するだけでなく、我々の街にも大きな動きを持ち込んだらどうだろうか。夏の小さな祭りを2つ3つ止めて、もっと市民が沢山集まる行事を企画してほしいと思います。
 - ・ 輪西地区は活発に活動が行われていますが、他の商店街との横の繋がりをもっと積極的にしていく必要があると思います。その地域以外の商店の意見なども参考にしていきたい。
 - ・ 新日鉄、日鋼、他大企業が雇用を増やし、人口が安定するよう対策をしてほしい。
 - ・ 安心、安全、わかりやすさなど老人にやさしい街に変わっていくべきです。高速道路の無料化や千円などで若年層は、市外へ流れて行ってしまっています。
「この店にしかない」、「この店じゃないとダメなんだ！」と必要としてもらえる店が多ければ人の流れも出てくる事ができるのかと思いますか？
 - ・ 大店法の復活を強く望みます。大型店が現在の様に無節操に出店を許すと、街、商店街が破壊されていく。大型店と商店街及び中小商店の共存共栄は有り得ないと想います。
 - ・ 問7でも述べましたが、ヨーロッパの市場の様な雰囲気のある商店街、私の所は専門店ですので特化した品揃えとか専門的な商品知識の勉強で、お客様により良い物を提供していきたい。
輪西には結束力があり、今までの目標を具体的に実現へ向けて行動して行きたい。
 - ・ 駐車場を設けてほしい。

現状に満足

- ・ 現状としては、この度の空き店舗対策により、新規開店のお店が数店出来ましたので、新しく中島等に参入して下さった店主の方々に、商店街作りに参加していただき、新しい風となってまちを盛り上げていく様になる様、願っています。
- ・ 来客数や売上げはやや減少しているが、丸井今井の閉店後のギャップは人通りが無いが、今以上にむしろ企業協力が意欲が出て頑張らなければと言う考えが強く感じている。